

東北日日新聞

刊休無中
本報社址
石巻市
電話
石巻支店
電話
仙台支店
電話
青森支店
電話
弘前支店
電話
八戸支店
電話
三陸支店
電話

社説

小名濱商港の出鼻をくだ
かれたやうな感じがする
大敷網問題も、千葉監督
判事の調停で来る十三日
までは海上の作業を兩者
とも休止することになつ
て、一先づ休戦の形勢と
なつた。

白井氏側では勿論正しい
権利の主張をするのであ
るから堂々と合理的に進
むものであらう。

然し、調停者が現はれた
ことは絶好の機会である
から大度を示して積極的
に歩み寄り高橋氏側の理
儘を赦すべきである。

白井氏側として、争闘に
よつて有利に事態を導か
うとする術策がほの見え
るとき漁期を失しない、
産業上の由々敷問題でも

あり地方的に至大の關係
を有する大敷網事業が、
白井氏の態度を示して解
決することによつて凡て
が全滿的に救済されるの
であるから行きがかりを
捨て、調停者の希望に副
ふべきである。

高橋氏に到りては吾人何
も語るを好まざれど、
喧嘩は沙ごきがあるとい
ふことを教へるものであ
る。

解決の 方法をどうして正式の契約をなし憂ひ
云ふのであるが兩者に對す
る千葉裁判長の如く観測さ
れるが然し千葉裁

▲武徳會の表彰
大日本武徳會では去る十日
平分會の功勞者山崎與三郎
氏外十二名に木杯一組木村
徳三郎氏外二十名に木杯一
個宛を贈つて表彰した

小名濱大敷網問題の解決で 十三日平區裁判所に 白井、高橋兩氏の會合 其の結果が雨か？風か？ 成行非常に注目さる

平和な解決によつて兩者の衝突を避けさせる
目的から平區千葉裁判長が非公式に調停の勞
をたらんとした事は昨報したがそれによつて白
井、高橋の兩氏並に關係者は十三日平區裁判
所に於て千葉裁判所長の案に従ひ和解する事
となつた……が然し果して和解するや否やは
甚だ疑問である

若し十三日の會見が
互に譲らぬならば
それを重大事件
をひき起す

石城郡小名濱町の大敷網問題なるものであるかは不明
題に就て平區千葉裁判長がなるも結局兩者が協する
兩者の衝突を避けさせる爲となれば
昨報したたが十三日千
葉裁判長は白井、高橋兩氏名、小名濱漁業組合を相手
所に會合せしめて懇談させ改めて縣と組合と高橋並に
その上で千葉裁判長の所謂白井
妥協案なるものを中心
解決の 方法をどうして正式の契約をなし憂ひ
云ふのであるが兩者に對す
る千葉裁判長の如く観測さ
れるが然し千葉裁

判長の提案たる協案に高
橋氏側が不服を唱へ十三日
の調停が破るゝならば堤を
破つた 濁水のほん流
する如き收拾するあたはざ
る問題を再び繰返す事と
なるので十三日の會合に就
ては各方面より非常に注目
されてゐる、尙右に就て某
縣議は語る
高橋氏は四十五車のパラ
スを泉驛に運んで飽迄投
げ網を決行すると稱して
おり一方白井氏は百五十
名の常備備入漁夫を役
して投げ網をするを稱し
て一步も退かぬ氣配にあ
るのだから何時流血の慘
事を見ぬとも限らなかつ
たが千葉平裁判長が十三
日迄作業を中止させて兩
者の和解に就き外ながら
盡力をして居られるから
或ひは十三日の平區裁判
所に於ける兩者の會合圓
満裡に解決されるのでは
ないかと思はれる

藤田校の 嘉藏は 徳藏に對し貴 様を殺すぞと自宅から及渡 り四寸餘りの大木斧を持ち 出して背後より切りかかり 全治一ヶ月の重傷を負せた 手を平署に探知され平署か ら藤岡警部補出張して嚴重 取調べを行つたが被害者は 可成りの重傷である

判決言 渡延期 例の林鳥事件 馬場林鳥に傷害を與へた八 上錦一(三二)に對する判決 言渡しは昨日であつたが 都合で来る十五日に延期さ れた

△澤渡青年優勝
大日本武徳會主催石城郡青
年團優勝旗争奪試合は昨日
日松ヶ岡に於て催されたが
澤渡青年團優勝旗を授與さ
れた

口論のあげく 薪割で殴打 藤原炭礦の騒ぎ 安達郡仁井田村大字上ノ臺平署管内の四町十八ヶ村各 生れ當時石城郡藤原消防組春季聯合檢閲は来る 炭礦長居住坑夫渡邊嘉藏二十日午前八時から八時半小 頃隣家に居住する茂呂徳藏の筈

平署管内の
消防檢閲
来る二十日執行
薪割で殴打
藤原炭礦の騒ぎ
安達郡仁井田村大字上ノ臺平署管内の四町十八ヶ村各
生れ當時石城郡藤原消防組春季聯合檢閲は来る
炭礦長居住坑夫渡邊嘉藏二十日午前八時から八時半小
頃隣家に居住する茂呂徳藏の筈

平の保険料引下げは 絶対罷りならん 正式の通知に接して 今日代理店主等協議

平町に於ける火保率を突如に歸したそれが爲に在平
引上げたのに對し反對を唱
へた平町に於ける各代理店
主等は既報の如く大日本火
保協會に對して引下
げの運動をなしたつたが去つたので十一日平町役場に
げはまかりならぬと通牒した尙平町役場も若し契約
れたので切角の運動はガハガ

否決さ れれば協會が 加盟以前の火保代理店と契 呑み代を斷はられ 腹いせに娘へ亂暴 日本一馬鹿な父親 平署に檢舉

小使を 強要したがナ ツは再三の事に無いと斷つ た處このアマとばかりにナ ツを捕へて打つ蹴るの亂暴 を働いてゐるのを平署員が 呼び出して

新海縣生れ當時住所不定日
屋青木術次郎(五八〇)は昨日
午前十時頃泥酔して三女
ナツ(二二)の働いてゐるオ
ツ小路壽し本を訪れナツを
呼び出して
小使を 強要したがナ
ツは再三の事に無いと斷つ
た處このアマとばかりにナ
ツを捕へて打つ蹴るの亂暴
を働いてゐるのを平署員が
呼び出して

西洋丸昇軒 料理丸昇軒 電話四三九番

發見取押へんとした處巡査
に喰つてかゝる始末にやむ
なく本署に引致したが
同人は 若い頃より呑
む、買ふ、賭つる三拍子揃
ひで三人の娘あるも何れも
女中等に住み込ませては前
借して呑み歩いてゐる者
判明したので嚴重説諭を加
へて返した

矯風會の 役員選舉 聲城キヤウ風會では過般才 拙小路壽し本に於て總會を 開催役員改選を行つたが役 員に左記諸氏當選した 會長田村岩雄 副會長宇 佐美友二郎

筆洗ふ前に
七十七支店に二人の狂人がくる
そして二人の中の一人が國際的
の外交を論ずる、別の一人が軍
國主義を説く。
ある日二人がそこに落合つたこ
ころ外交狂人が軍國狂人を指し
て、アレは狂人だよ。平然と
して冷笑してゐる。
支配人の山田さんが、話してか
ら暗い顔をした。
天才さ狂人は紙すれん、のへ
だたりしかないといつたロンア
ロソの言が眞理の片影を物語
つたものさたらうなづける
誰……この人も自分以外の他
の口達をさして狂人あつたか
いをしてゐる……がしばしば、み
せられる事實である。それがジ
ン生といふすがたのある一ツで
はないか……？
天才が、キョウジンかでないか
げジン生はあんがいつまらない
ものであるやうな氣がする。
正氣なやつに狂者、も哲ジンも
ない……なる……

ボスト (投書歡迎)
▲オラが親分の小川鐵相
も度々の 願や新聞批
評で愈々驛名看板を國文
法に依り國粹假名に書き
替へる事に決定した感心た
而し度々塗り替へられる
看板だけは、面の皮だ
(驛學者)

社告

無料公開……!

観櫻の夕

本社民衆音楽デーの催し

大地の春はほぐえんで居ります。春の象徴である櫻はやがて其のケンランの美を誇る事せう。

此の春……此の花……それは激甚であり同時に複雑なる社會相の渦巻きの中で生活してゐる、近代人の心を眼を疲勞を感して呉れるもの。す。

本社はこの花に一段の興を添へ、より多くの櫻見る人々を惹める爲めに無料公開観櫻映画の夕を催す事にしました。

◆場所 松ヶ岡第一公園

◆日時 四月二十四日

午後六時より(雨天順延)

公園の廣場で活動寫眞を映寫しますので、誰でも自由に觀覽出来るのです。

夕霧の中に匂ふ夜櫻を見る人々は其の櫻の中で、映画を見る事が出来る譯で、觀櫻の人々は花に酔ひ映画に酔ふ事が出来る事と思ひます。

◎上映 映畫

目下撰擇中ですから近く本紙上に於て映画名及び其の筋書を大體發表致します。

櫻は映畫で更らに其の色を増し多くの人が、春の夕べを樂しむ得る事と思ひます。

◇上映映畫の發表をお待ち下さい

東北日日新聞社

第三回謝恩特別三大名篇公開

四月十一日替映畫御案内

松竹名画 林長二郎 千早昌子 浦波須磨子

譯 切られ與三 全

原作 前田孤法 監督 小石榮一

歌舞伎の興三を裏切り新譯になる本篇こそ松竹時代映畫の白眉

東京大阪毎日新聞所載 原作三上於菟吉

總指揮 龜原嘉明 監督 村田實

後篇 激 流 全

高木永二 岡田時彦 島耕二 中野英治 小杉勇

夏川静江 入江たか子 三樹登

原作 志波西果 山本嘉一 松本泰輔 鳥羽陽之助

明治の創め近氣に起る血涙悲壯なる史實を映画化するもの……山内容堂公を中心とし國難外交たれか此の國難を救ふ見よ明治外交史を

お節句(舊三月)ヒルあります

普通席 金十錢 爲謝恩 平 館 電四六六

愈々十二日替り期待篇

マキノ 月形陽候 大熱演

宿命 救ひを求むる者

討つもの 討たるものにも皮肉な運命の悪戯はいつも涙と血との交錯……

◆各社映畫の傑作 新進 夢路小夜子 主演

小唄 君 戀 し 切封

奏樂指揮 明石泰 獨唱 島津正之

目下帝部に大流行の小唄映畫

大帝キネネ超特作 渡邊新太郎 監督

劍王 市川百々之助 久々の熱演

悲涙 白 蟻 十五巻

百々之助の創案始めて決死的撮影をなした無念無想眼下一字の構へお、百々之助の劍法

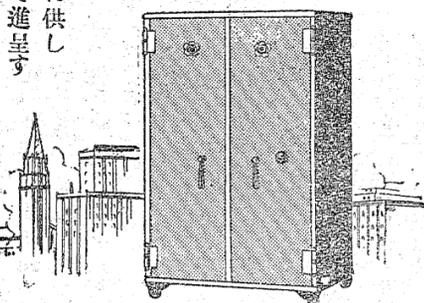
……説明 鈴 木 一 華

十錢 優待券を御 お節句ヒル 有聲座

金庫工業界に一新紀元を劃し

斯界ノ驚異的焦點トナル
日英米國專賣特許品
國立工業試驗所に於て攝氏一千度以上の耐熱實驗中五時間五十分の有効証明を發表せられ
當地東部力株式會社、平營業開始の多數官廳・銀行、會社商店に納入し特別指定の光榮を得たり

佐倉金庫



今日同被露の實費販賣に依り舊來のトニベの來るより廉低りよ庫金式りな濟經も最上用してし

株式 佐倉金庫店
本社 東京市京橋區松屋町
平町白銀町
東北總代理店 石島商會
電話六五〇番

ラヂオの整理

在庫品の整理を機に……
三球一台(附屬共一式)
タツタ……六十五圓
……で販賣致します

何卒御用命下さい
平町白銀町

電機器具 日東商會

ラヂオ部
電四二八番

御花見!!

觀櫻會の御席には既に卓越の定評ある鹽屋の……醇良……銘酒
たいら正宗を

壇詰樽詰

山崎合名會社

平町土橋通り
電話一〇番 二七番

フランズ式!!!

漸新ナル機械ノ完備
●カラー類ローラ仕上ゲ
●ドライクリーニンク
●其他洗濯物一切

小松西洋洗濯所

平 鍛 冶 町
吉田屋呉服店向ヒ

時代の進歩

開業披露

我が郷土に最もふさはしいお土産物とし、必ずお氣に召す器具類と玩具類の製作を始めました。……是非お引立を希います……

器具部 玩具部
各種丸盆、木皿、自動車、汽車、人形、自轉車、教育菓子器、花瓶臺、其他萬物類 玩具一式

佐藤製作所

平町七丁目北側

宴會席の設備あり
小宴會 歡迎す
美味で評判の
電話四六〇番